



# The Kiyota Global Times

市立札幌清田高等学校 グローバルコース通信 第6号 SEPTEMBER/OCTOBER 2021

## 卒業研究発表会、お疲れさまでした！

グローバルコース長  
紀伊國 薫

8月25日(水)6・7校時に卒業研究発表会が行われました。今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、ポスター発表は教室で、ステージ発表は体育館で開催されました。

また、昨年同様、1年次は全員参加となり、今までとは違ったこれからの時代を見据えた新しいかたちの発表会となりました。特に今年度はグローバルコースが目指す“Think globally, act locally.”を体現すべく、各自が考える問題意識について、インタビューやアンケートを取り、それらの結果を踏まえて、自分はどう考えるのかという、今までよりさらに一步踏み込んだプレゼンテーションになりました。インタビューやアンケートの対象者は、本校の生徒、教職員のみならず、清田高校の周辺地域で働く方々、オーストラリアでホームステイした際のホストファミリー、本校でハンダの授業を担当されている高野先生のネットワークを活用し、韓国人のお医者さんなど、国内だけでなく海外にまで及び、世界を感じさせるような内容になりました。

コロナ禍で、昨年から思うような活動ができない中でも、明るく元気な3年8組らしさが随所に見られました。本当に立派でした。

裏面に3年生と2年生の感想を載せていますが、さすがグローバルコースの3年生だと言われるような英語力やプレゼン力、そして国際的な視野を、後輩やALT、保護者の方々に見ていただけたと思います。本当にお疲れさまでした。そして次の進路にむかってまたがんばりましょう！



ステージ発表した堀田さん



ステージ発表した和田君

## JICA 研修員訪問（1年）、マレーシア高校生交流会（2年）開催！

9月10日(金)の放課後に1年生の国際理解基礎(集中講義)でJICA研修員訪問を行いました。当初は、ナイジェリア、ベナン、インドから日本のJICAに研修員として派遣された3名の方が清田高校を訪問し、リアルに交流をする予定でしたが、緊急事態宣言の発出により残念ながらZoomを使ってのオンライン訪問となりました。それでも生徒達はあまり知らない異国の話に耳を傾け、またインドやアフリカのアクセントの英語にも触れることができました。1年生は、8月のアメリカ領事館訪問に続いて2度目のZoomによるオンライン交流となったため、使いこなす姿も様になってきたように見えました。

2年生のグローバルコース生は9月28日(火)のプレゼンの授業を使ってマレーシアの高校生とのオンライン交流会を行いました。双方の生徒が自分の住む街や学校の紹介をしたあと、グループごとにディスカッションを行いました。これまでのオンライン交流会も良いものでしたが、やはりお互い同年代の高校生どうしだと盛り上がり方が違いました。マレーシアの高校の紹介ビデオは、ドローンを使った空中撮影など凝った内容が見られましたし、生徒達は自信を持って、ゆっくり、はっきり話すなど、とても訓練されているなという印象を受けました。マレーシアの高校生から受けた刺激をこれからの英語学習に活かしてがんばってください。



JICA 研修員訪問の様子



マレーシア高校生交流会の様子

## グローバルコース 15 期 卒業研究発表会を終えて（3年生の感想から）

この3年間で、数多くのプレゼンテーションを行ってきたおかげで、卒業研究発表会を何とか乗り越えることができた。日々の ALT との関わりの中で声のトーン、抑揚、身振り手振り、目線などを身につけ、それを存分に活かすことができたと思う。また、こんなに1つのトピックに関して突きつめて考えたことがなかったのでとても難しかったが、自らの疑問に対して納得がいくまで調べるという行為は楽しくて、大切なことだと分かった。これから「研究機関」と呼ばれる大学に進学した後に、この経験で身につけた能力や好奇心が生きると思う。

あのような場に立って発表することは、ほとんどの人にとって緊張することだ。ただ私は、回数を重ねる度に、一方的に発言をするのではなく、観てくれる人とのコミュニケーションだと思えるようになって、次第に発表を心から楽しむようになった。決して上手く発表することだけが素晴らしいのではなく、大勢の前に立って話す勇気がなにより誇らしいことだということを忘れずに、今後いろいろな場を経験していきたい。



## 3年生の卒業研究発表会を見て（2年生の感想から）

先輩方のように内容が濃く、みんなに関心をもってもらえるようにたくさん内容を考えて、さらにわかりやすい発表のできる3年生になりたいです。そのために、今から興味のあることについて積極的に調べていきたいです。

今回のプレゼン聞いて、自分には足りないものがたくさんあるなと思った。3年生はアドリブにも強くて、難しいことを簡単に直して、それに堂々と発表していて、私もそんな風になりたいです。そのためにはプレゼンの発表の度にこのことを意識してやっていきたいです。

Through graduation research presentation, many students looked confident and spoke English fluently. It was so cool. So, I want to be an English speaker like them. However, I felt nervous and thought I didn't have enough English skills, especially speaking skill. So, I will practice writing English fast.

